

活動名 子供達に文化の継承とボランティア演奏	団体名	こども琴クラブ
	地域	広島県東広島市
	代表者	代表 久保 真由美
	支援金額	30万円
活動概要		
<p>こども琴クラブのメンバーは、週1回または2回練習をして、ある程度できるようになると、合奏形式の合同練習をします。月に1度は、地域の行事や、舞台上で発表します。また、老人施設などいき、演奏させていただきました。伝統文化である箏という楽器に触れ、その音色の素晴らしさを、多くのこども達に知って欲しく活動をはじめ4年が過ぎました。発表の場を地域に多く持ち、ご理解と応援をいただくようになり、すでに来年度の発表を、いろいろと計画中です。忙しい発表の合間をぬって、こども達のおたのしみ会(合宿や、クリスマス会など)も、保護者の皆様のご協力の元、行うことができました。その他に、ペットボトルのキャップを集めて、ポリオワクチンに変える運動に参加したり、いつも練習に使わせていただいているコミュニティハウスの前に花を植えたり美化活動にも取り組みました。</p> <p>◆実施時期：2009年4月～2010年3月 東広島市近郊</p> <p>◆参加人数：参加総人員 185名</p>		



《老人ホーム訪問》



《東広島市民芸術祭》



《練習風景》



《支援助成決定》

#### ◆実施に伴う効果

- ・練習場所が小学校と隣接している為、下校からまっすぐ練習に来られる。児童数の少ないこの辺りの児童にとって、友達と過ごせるたのしい時間のようです。
- ・地域のおまつりや敬老会で演奏させていただき、交流がふえ応援していただくようになりました。
- ・老人施設に行くと、手拍子と一緒に歌を唄い、「ありがとうね。」と逆に声をかけていただき自分にできる暖かいボランティアを体感できたと思います。この活動を聞いた他施設から演奏の依頼が来たので、良い成果が出ているのだと思います。
- ・こども達の演奏を見てくださった、他の伝統文化団体の方から、すそのの広がりを楽しんでいますと、応援のメッセージをいただきました。

#### ◆苦勞した点

- ・楽器が大きい為、発表の場までの運搬に毎回苦勞をしています。ほとんどの場合、わが家の自家用車に全部積み込み、保護者の負担を軽くしてきました。今年は、マツダ財団の支援のおかげで、一番遠い遠征には大型バスを利用でき、時間的、物理的な負担がなかったです。これからも一箇所でも多くの施設に演奏に出かけてみたいのですが、楽器とこども達の移動に頭を悩ますことと思います。
- ・こども達の授業や、学校行事との調整がなかなかできず、計画を立てにくいです。
- ・広報をもっと充実させたいのですが、時間的に負担が大きくなり継続できていません。マツダ財団からの支援については、行事発表の都度、口頭で公表しました。

#### ◆今後の課題・発展の方向性

- ・楽器の運搬についてはそのつど、保護者の協力を得ながら行うしかないと思います。
- ・聞いてくださる側に立って、本当にボランティアになっているか、内容をよく考え、プログラムの編成を構築してゆこうと思います。
- ・外国の方との交流の場を持ちたいと考えています。

#### ◆活動を終えての感想・意見等

一年の活動記録を読むと、実に充実した一年でした。それぞれにこども達が真剣に取り組んでくれて素晴らしい発表にしてくれました。その表情を見ていると、何事にも努力して完成へ近づけようとする集中力がついているように思えます。異年齢の子どもの集合で、仲間意識がたいへん強く思いやりの心が満ち溢れています。地域との関わりを持ち、ボランティアにも積極的に取り組みました。楽器は、古いものも多く、糸は消耗品なので、メンテナンスが大変でしたが、マツダ財団様からの支援により、糸の張替えや、備品をそろえることもでき来年度に向けてまた、活動の幅を広げ、続けることができます。おかげさまで素晴らしい一年になりました。心より感謝申し上げます。